

国営南周防土地改良事業
再評価基礎資料

令和8年7月

中国四国農政局 南周防農地整備事業所

目 次

1. 事業概要	1
1.1 地域の概要	1
1.2 事業目的	2
1.3 関係市町	4
1.4 受益面積	4
1.5 関係戸数	4
1.6 主要作物	4
1.7 主要工事計画	5
1.8 総事業費	8
1.9 工期	8
1.10 予定負担区分	8
2. 事業の進捗状況	9
2.1 主要工事の進捗状況	9
2.2 総事業費の執行状況	9
2.3 工事施工状況	10
2.4 営農状況	12
3. 関連事業の進捗状況	17
3.1 採択状況	17
3.2 総事業費ベースの進捗状況	17
4. 社会経済情勢の変化	18
4.1 人口・世帯数の推移	18
4.2 産業別就業人口の推移	20
4.3 経営耕地面積の推移	22
4.4 農家数の推移	24
4.5 主要作物別作付面積の推移	40
4.6 参考資料	48
5. 事業計画の重要な部分の変更の必要性の有無	69
5.1 受益面積の変更	69
5.2 主要工事計画の変更	69
5.3 総事業費の増減	69
6. 費用対効果分析の基礎となる要因の変化	71
6.1 県、市町の農業振興の方向	71
6.2 費用対効果分析の基礎となる要因の変化	74
6.3 費用対効果分析の中で定量的に捉えられない効果	83
7. 環境との調和への配慮	93
7.1 事業における環境配慮	93

7.2 環境配慮検討委員会の設置.....	94
7.3 環境配慮対策の取組フロー.....	94
7.4 生態系への配慮.....	95
7.5 景観への配慮.....	100
8. 事業コスト削減の可能性.....	101
8.1 埋蔵文化財保護に使用する土壌の流用土の採用.....	101
8.2 環境配慮施設の現地発生材の利用によるコスト削減.....	102
8.3 発注ロットの拡大及び国債工事を活用したコスト削減.....	103
9. 関係団体の意見	104

1. 事業概要

1.1 地域の概要

南周防地区は、山口の東部に位置し、行政区は熊毛郡田布施町、柳井市、光市である。本地区は、東は岩国市(旧・玖珂郡由宇町)及び海を隔てて周防大島に、西は下松市及び周南市に、北は岩国市(旧・玖珂郡周東町)に、南は室津半島で熊毛郡平生町、上関町に接しており、南に瀬戸内海を望み温暖な気候のもと、島々が点在する美しい景観を誇る穏やかな海と豊かな緑を有している。

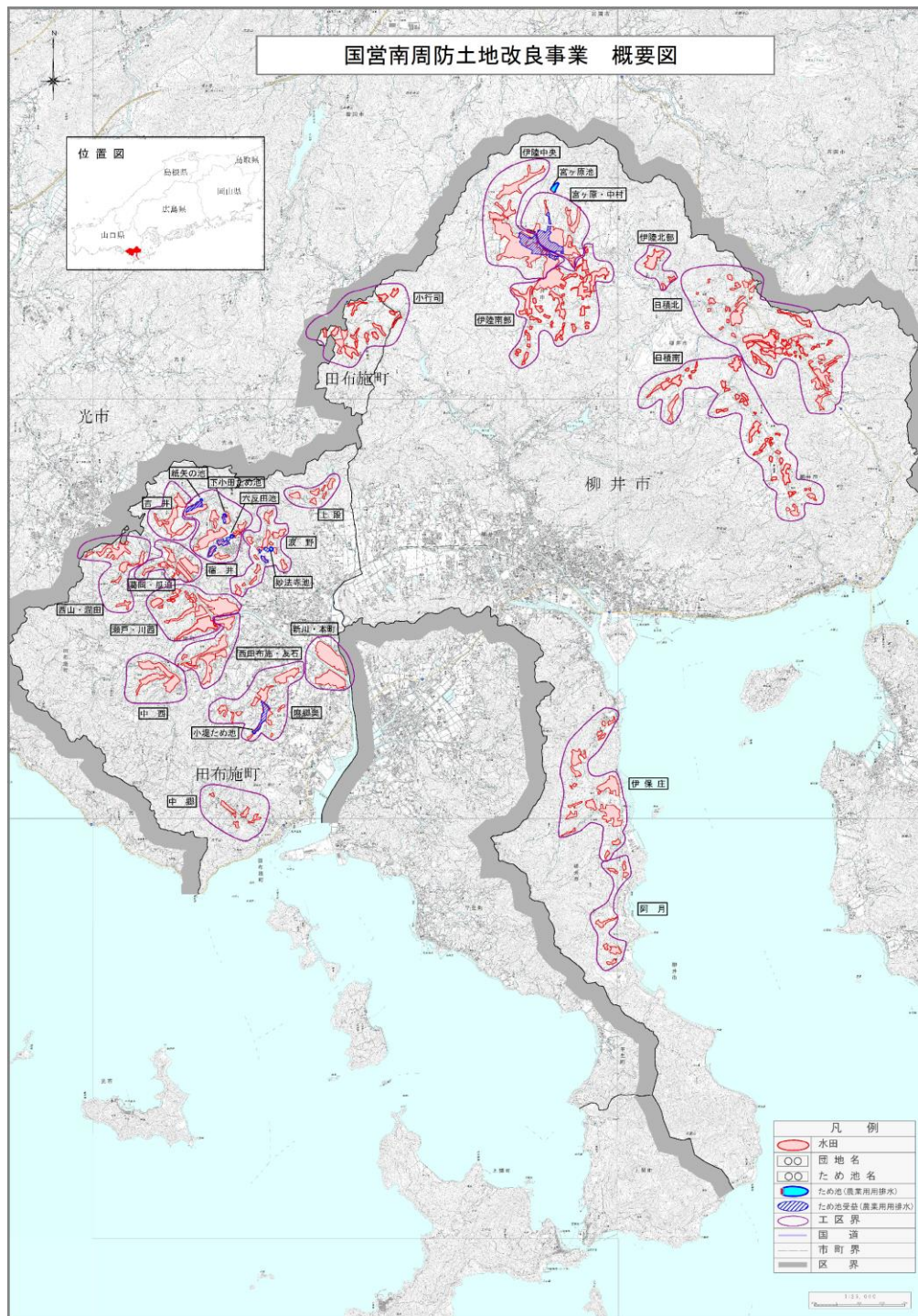


図 1.1 国営南周防土地改良事業「南周防地区」概要図

1.2 事業目的

本地区は、山口県東部に位置し、瀬戸内海を南に望む温暖な地域である。

地域の農業は、水稻を中心とした自給的農家や副業的農家が過半を占めており、農業就業者の高齢化も進んでいる。

本地区のほ場は、一部、区画の条件が整っているものもあるが、多くは狭小、不整形であり、さらに排水不良となっていることから、効率的な農作業を行うための妨げとなっている。また、本地区の一部のため池は老朽化による漏水が発生するなど、農業生産基盤の機能低下も生じている。これらのことから本地区においては、担い手へ農地の利用集積が進まず、耕作放棄地が多く発生している。

このため、本事業では、区画整理 390ha、農業用排水 36ha、暗渠排水 182ha を一体的に施行し、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積を進め、緊急的に生産性、収益性の向上及び耕作放棄地の解消・発生防止による優良農地の確保を図り、農業振興を基幹とした地域の活性化に資することを目的としている。

整備前と整備後



西田布施・友石団地（区画整備前）



西田布施・友石団地（区画整備後）



伊陸中央第3団地（区画整備前）



伊陸中央第3団地（区画整備後）



伊陸中央第4団地（区画整備前）



伊陸中央第4団地（区画整備後）



妙法寺池（ため池整備前）



妙法寺池（ため池整備後）



宮ヶ原・中村団地（暗渠排水施工前）



宮ヶ原・中村団地（暗渠排水施工後）

1.3 関係市町

山口県光市、柳井市、熊毛郡田布施町

1.4 受益面積

区画整理 390ha（水田 379ha、畑 11ha）

農業用排水 36ha（水田 36ha）

暗渠排水 182ha（水田 182ha）

1.5 関係戸数

区画整理 : 関係戸数 1,815 戸

農業用排水 : 関係戸数 116 戸

暗渠排水 : 関係戸数 459 戸

1.6 主要作物

水稻、大豆、小麦、キャベツ、たまねぎ、アスパラガス、いちじく、りんどう

主要作物の作付状況



水稻



大豆



小麦



キャベツ



たまねぎ



アスパラガス



いちじく



りんどう

1.7 主要工事計画

1.7.1 区画整理

(1) 区画整理

工区名	面積 (ha)	整地工		表土扱い		備 考
		標準区画	土量 (m³)	面積 (ha)	土量 (m³)	
日積北(中山)、日積北(大原)、伊保庄、阿月、伊陸中央、宮ヶ原・中村、日積北(大里)、日積南、波野、宿井、葛岡・瓜迫、西山・潤田、瀬戸・川西、中西、麻郷奥、新川・本町、西田布施・友石、吉井、中郷	61	0.5ha (100m×50m)	172,500	56	84,000	水田
	301	0.3ha (100m×30m)	681,000	277	415,500	
	17	0.2ha (70m×30m)	37,500	15	22,500	
小 計	379		891,000	348	522,000	
日積北(中山)、日積北(大原)、伊保庄、阿月、伊陸中央、宮ヶ原・中村、波野、宿井、葛岡・瓜迫、西山・潤田、瀬戸・川西、中西、麻郷奥、新川・本町、西田布施・友石、吉井	11	0.2ha (70m×30m)	24,700	10	15,000	普通畑
小 計	11		24,700	10	15,000	
合 計	390		915,700	358	537,000	

(2) 末端用水路等

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
末 端 用 水 路	71.7 km	かんがい面積 257ha 0.004～0.095m ³ /s	鉄筋コンクリートベンチフリューム 200 型～500 型	
末端用排水路	29.2 km	かんがい面積 91ha 0.004～0.035m ³ /s	鉄筋コンクリート大型フリューム B1000×H700～B1200×H1000 鉄筋コンクリートベンチフリューム 200 型～600 型	末端排水路と兼用

(3) 末端排水路等

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
末 端 排 水 路	58.5km	受益面積 289ha 1.25～7.92m ³ /s	鉄筋コンクリート大型フリューム B1000×H700～B2200×H1200 鉄筋コンクリートベンチフリューム 200 型～600 型	
末端用排水路	29.2km	受益面積 100ha 0.04～2.01m ³ /s	鉄筋コンクリート大型フリューム B1000×H700～B1200×H1000 鉄筋コンクリートベンチフリューム 200 型～600 型	末端排水路と兼用

1.7.2 農業用排水

(1) 貯水池

名 称	宮ヶ原池			位置	柳井市伊陸堤ヶ原					
堤 体	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千 m ³)	基礎地盤 地質	貯水量 (千 m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	前刃金	0.096	—	13.7	68	26.6	—	38.8	38.8	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	取水 施設	型式	放流量 (m ³ /s)	改修
	越流式	2.500			斜樋	0.038		取水施設 兼用	0.170	

名 称	妙法寺池			位置	熊毛郡田布施町大字波野上水奥					
堤 体	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千 m ³)	基礎地盤 地質	貯水量 (千 m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	前刃金	0.036	—	4.4	66	3.5	—	3.2	3.2	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	取水 施設	型式	放流量 (m ³ /s)	改修
	越流式	1.230			斜樋	0.018		取水施設 兼用	0.022	

名 称	下小田ため池			位置	熊毛郡田布施町大字宿井字小田					
堤 体	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千 m ³)	基礎地盤 地質	貯水量 (千 m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	前刃金	0.010	—	3.5	56	2.5	—	2.1	2.1	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	取水 施設	型式	放流量 (m ³ /s)	改修
	水路流 入式	0.310			斜樋	0.031		取水施設 兼用	0.022	

名 称	紙矢の池			位置	熊毛郡田布施町大字宿井字小田					
堤 体	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千 m ³)	基礎地盤 地質	貯水量 (千 m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	前刃金	0.082	—	4.4	50	2	—	3.7	3.7	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	取水 施設	型式	放流量 (m ³ /s)	改修
	越流式	3.307			斜樋	0.066		取水施設 兼用	0.018	

名 称	六反田池			位置	熊毛郡田布施町大字宿井字小田					
堤 体	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千 m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (千 m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	前刃金	0.037	—	4.1	83	2.9	—	5.2	5.2	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	取水施設	型式	放流量 (m ³ /s)	改修
	越流式	1.050			斜樋	0.041		取水施設兼用	0.018	

名 称	小堤ため池			位置	熊毛郡田布施町大字宿井字小田					
堤 体	型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千 m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (千 m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	前刃金	0.044	—	3.9	55	1.8	—	3.0	3.0	
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)		取水施設	形式	取水量 (m ³ /s)	取水施設	型式	放流量 (m ³ /s)	改修
	越流式	1.050			斜樋	0.011		取水施設兼用	0.021	

1.7.3 暗渠排水

(1) 暗渠排水

項 目 区 分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	暗渠排水	区画整理 (参考)	計 (参考)														
日積北、日積南、宮ヶ原・中村、伊陸北部、伊陸南部、伊保庄、阿月、波野、宿井、葛岡・瓜迫、西山・潤田、瀬戸・川西、中西、麻郷奥、伊陸中央、吉井、西田布施・友石、新川・本町、中郷、伊陸北部、伊陸南部、小行司、上段	168	358	526	LEVEL	高密度ポリエチレン管	φ75	100	LEVEL	高密度ポリエチレン管	φ50～100	0.5	10	1,000	排水路	鉄筋コンクリートベンチフリューム	100	
計	168	358	526														

注：上記の暗渠排水面積 168ha は、暗渠排水事業面積 182ha に本地率 92% を乗じた数値

1.8 総事業費

総事業費：31,600 百万円（令和 8 年度ベース）

区画整理：27,531 百万円

農業用排水：1,310 百万円

暗渠排水：2,759 百万円

（参考）計画変更時点

総事業費：26,023 百万円（計画変更時点）

区画整理：23,090 百万円

農業用排水：1,045 百万円

暗渠排水：1,888 百万円

1.9 工期

平成 23 年度～令和 10 年度

1.10 予定負担区分

事業方式	事業	国庫負担	県負担	市町負担	農家負担
一般型	区画整理	66.67%	25.20%	5.00%	3.13%
	農業用排水	66.67%	25.20%	6.13%	2.00%
	暗渠排水	66.67%	25.20%	5.00%	3.13%

2. 事業の進捗状況

2.1 主要工事の進捗状況

主要工事の進捗率は下表のとおりである。

(単位：百万円)

工事内容	全体工事費	令和 7 年度まで		令和 8 年度以降 残事業費
		工事費	進捗率	
工事費	21,356	20,376	95.4%	980
区画整理	18,843	18,231	96.8%	612
農業用排水	920	891	96.8%	29
暗渠排水	1,593	1,254	78.7%	339

※南周防地区の令和 7 年度までの進捗率

2.2 総事業費の執行状況

(単位：百万円)

総事業費	令和 7 年度まで		令和 8 年度以降 残事業費	工期
	事業費	進捗率		
31,600	29,071	92.0%	2,529	平成 23 年度～令和 10 年度

2.3 工事施工状況

区画整理工事



西田布施・友石団地（区画整備前）
R5年4月



西田布施・友石団地（区画整備中）
R5年7月



西田布施・友石団地（区画整備中）
R5年11月



西田布施・友石団地（区画整備後）
R6年3月



伊陸中央第3団地（区画整備前）
R4年10月



伊陸中央第3団地（区画整備中）
R5年1月



伊陸中央第3団地（区画整備中）
R5年5月



伊陸中央第3団地（区画整備後）
R6年2月

農業用排水工事（ため池）



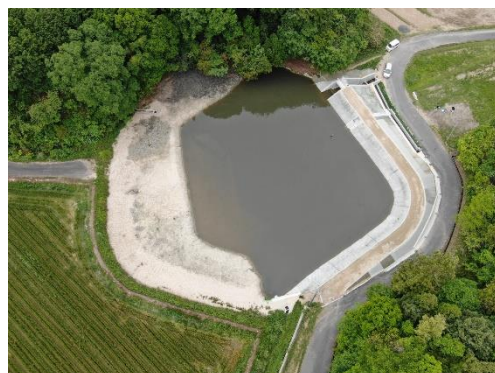
妙法寺池（工事着手前）R2年8月



妙法寺池（工事中）R2年12月



妙法寺池（工事中）R3年1月



妙法寺池（工事後）R3年5月

暗渠排水（フォアス施工状況） 宮ヶ原・中村団地



着工前 R2年10月



幹線・支線パイプの施工 R2年11月



補助孔の施工 R2年11月



工事後 R2年12月

2.4 営農状況

本地区では、瀬戸内海式気候の温暖、豊富な日照時間を活かした野菜（いちご、アスパラガス、たまねぎ他）、果樹（いちじく他）、花き（りんどう）の生産をはじめとした、農業生産法人を中心とした土地利用型作物の生産が行われている。

以下に、地区内の先進事例である株式会社及び農事組合法人の活動概要を示す。

2.4.1 先進事例

（１）アグリ南すおう株式会社

「アグリ南すおう株式会社」は、平成 29 年に設立され、現在は 21 農業法人（国営受益 18）と JA による共同出資会社である。

【活動の概要】主要事業

① 資材共同購入事業

栽培暦を統一し、肥料・農薬を一括入札等により共同購入を行うことによって、生産費の削減による収益増加を見込むものとする。

② 共同利用車両等レンタル事業

栽培・野菜など畑作の水田排水改善のために、サブソイラーを導入する。収穫物や土改材を運搬するクレーン付き 4t トラックを 1 台整備し、クレーン及び玉掛けの技能資格者 5 名を育成した。これらにより労力軽減・作業効率の上昇が見込まれ、麦・大豆の作付面積が拡大され、適期収穫を可能にする。またその他にも、大豆コンバイン、乗用管理機、中古マニアスプレッターを導入する等、利用可能車両の幅を拡大している。

③ 生産機械・施設リース事業

生産機械や施設の貸出事業を行う。現在、各法人は機械を一式整備済みであり、更新は数年先であるため、現時点では需要が少なく税制上の問題もある。しかし、将来的には、法人の間で女性や高齢者など補完労力の有効活用により適期作業が可能となる。

機械の他にも、県営事業でアスパラガスのハウスのリノベーション事業を行っており、古いハウスを直し、アグリ南すおう株式会社に購入し、農業生産法人に対して施設を貸し付けている。

④ 農作業受委託調整事業

作業労力が不足する法人や緊急に作業委託したい場合、会社が受け手との調整・斡旋をし、受け手が作業する農地をできるだけ集積・団地化させ、作業効率を上昇させる。作業する若者の本収入を創出し、露地・施設野菜の本格的な拡大を可能とするなどの効果が見込まれる。

現在は大豆のコンバインの作業受託を中心に行っている。

⑤ 直営事業

グラウンドカバープランツのセンチピートガラスの吹付けを平成 30 年度から毎年実施している。

⑥ 後継者育成

若手の営農者の相談相手となることを目的とした若手の農業法人従事者（50 歳未満、農業生産法人に所属して 3 年未満）を対象とした、経営塾の実施を予定している。

【活動の現状及び将来展望】

① 資材共同購入事業

- ・共同購入による効果としては、物価上昇が影響し、現在の値引率は 2～3 %となっている。
- ・年によって変動があるが、年間 60 百万円程度の取扱がある。

② 共同利用車両等レンタル事業

- ・レンタルとして取り扱う農機はクレーン付トラックやサブソイラー、大豆コンバイン、乗用管理機、中古マニアスプレッターがある。
- ・アグリ南すおう株式会社が利用調整を行っている。

- ③ 生産機械・施設リース事業
 - ・施設はリース、機械はレンタル事業で対応している。
- ④ 農作業受委託調整事業
 - ・農作業の受委託の調整は、大豆収穫のみ行っている。
- ⑤ 直営事業
 - ・センチピードグラスを推奨し、実際に工事も毎年（10,000㎡程度）行っている。
- ⑥ 後継者育成確保事業
 - ・若手の農業法人従事者（50歳未満、農業生産法人に所属して3年未満）を対象とした経営塾を実施予定である。

【出典】アグリ南すおう株式会社聞き取り調査記録

(2) 農事組合法人あいさいの里

【経営概要】

作付面積：水田（52.0ha）

主要作物：水稲（20ha）、小麦（10ha）、大豆（10ha）、キャベツ（1.2ha）、
たまねぎ（2ha）、アスパラガス（0.72ha）

所在地：山口県柳井市

法人設立：平成16年3月

従業員：4人（20代：2人、50代：2人）※パート・アルバイトを除く

【活動の特徴】

① 活動の概要

- ・農地集積を図り、大区画ほ場やフォアスを活用して、水田畑利用による高収益作物栽培や環境に配慮した農業を展開するとともに経営規模拡大に取り組んでいる。
- ・経営耕地面積約50haのうち、事業参加面積約45haにおいて農地集積を図り、水稲、小麦、大豆を中心とした土地利用型作物の栽培を進めるとともに、アスパラガス、たまねぎ、キャベツ等の野菜の栽培にも積極的に取り組んでいる。
- ・大区画ほ場のメリットを十分活用するため、ブロックローテーションにより、53馬力のトラクターを稼働させて、大規模な栽培を行っている。これにより高収益作物などの作付面積が増える等、粗収益が増加している。
- ・水稲、麦、大豆以外にも、野菜の機械化として、たまねぎでは全自動播種機、全自動移植機、乗用ピッカー等により作業の機械化を図っている。
- ・アスパラガスについては、防除用のロボットを利用し作業の軽減を図っている。また、収穫時等の労働力が特に必要となる時期については、地域の人を一時雇用するなど、地域の雇用にも貢献している。



たまねぎ栽培状況



アスパラガス団地と自走式防除機による防除



女性の活躍(アスパラガス作業)

② 地元の直売所への出荷などによる地元野菜PR

- ・収穫した農産物は品質に応じて、JAの規格の「優」、「秀」、「外」に分けられ、収穫した作物の約70%は規格「優」としてJAを通して徳山市などの市場に出荷され、残りの規格「秀」、「外」のものは直売所等に出荷されている。
- ・柳井市都市農村交流施設「ふれあいどころ437」には直売として出荷しているほか、農家レストラン等の料理に使用されるなど、地元野菜のPR・産地化にも積極的で、地域の活性化にも繋がっている。

③ アグリ南すおう株式会社における役割

- ・本地区では各法人の連携を図るため、集落営農法人連合体である「アグリ南すおう株式会社」が平成29年4月に設立された。農事組合法人あいさいの里は、アグリ南すおう株式会社における中心的な役割を担い、法人リーダーの育成などに積極的に取り組んでいる。
- ・農事組合法人あいさいの里は、アグリ南すおう株式会社設立以前から、社会人の就農を支援するための研修等を実施した実績があった。そのノウハウをアグリ南すおう株式会社でも活用し、社会人や大学生を受け入れるための研修を行う拠点を提供し、アグリ南すおう株式会社傘下の法人への人材供給機能を果たす等、持続可能な法人経営を目指す活動に貢献している。

④ 女性の積極的な活用

- ・設立当初から、地域の女性の雇用及び活躍に積極的に取り組んでいる。
- ・現在、パート・アルバイトとして雇用している労働者の半数が女性である。

- ・常時雇用者やパート雇用者のための年間作業計画、パート雇用者のためのタイムテーブルを作成することで、働きやすい時間に働けるなど、労働環境の整備を図っている。
- ・特に小学生などの子育て中の母親に対しては、子供の学校の迎え時間などを考慮したタイムテーブルの作成などが好評となっている。

【表彰経歴】 平成 30 年度中国四国農政局国営土地改良事業地区営農推進功労者表彰

【出典】 農事組合法人あいさいの里聞き取り調査記録、
国営事業地区における優良営農事例（中国四国農政局管内）（URL：
<https://www.maff.go.jp/chushi/kyoku/einou/jirei/einoujirei.html>）、
山口県地域農業戦略推進協議会 HP（URL：<https://y-ninaite.jp/令和5年度全国優良経営体表彰において農事組合.html>）

（３）葛岡・瓜迫農事組合法人

【経営概要】

作付面積：水田（36.6ha）

主要作物：水稻、麦、大豆

所在地：山口県田布施町

法人設立：平成 26 年 1 月

従業員：4 人（10～30 代：1 人、40～60 代：3 人）※パート・アルバイトを除く

【活動の特徴】

①事業を契機とした法人の設立と経営規模の拡大

- ・国営南周防地区土地改良事業により、整形・汎用化された水田が整備されたことを契機に、平成 26 年に「葛岡・瓜迫農事組合法人」を設立
- ・担い手や法人役員の高齢化により、地域農業の維持が難しくなってきたことを受け、若手の専従職員を雇用。地域の農地を一手に引き受ける形で経営規模を拡大。
- ・町内の 7 団地にまたがる農地で、大規模土地利用型農業を展開
- ・後もほ場整備後の農地を担うことが決まっており、延べ 50ha の経営規模となる見込み。

②栽培技術の確立・向上と単収の向上

- ・SNS を使った他地域の担い手との交流を通じた情報収集を参考に、地域にはない大豆の晩播の作付け対策を導入。独自の工夫で栽培技術を確立することで、労働力のピーク分散を実現化した。
- ・令和 4 年には南周防地区の法人内で大豆の単収・生産量が 1 位になるなど、生産性の高い土地利用型農業経営を実現している。
- ・肥料・農薬メーカーとのタイアップによる試行を続け、収量向上の成果を得ている。

③スマート農業の導入

- ・トラクター（直進アシスト）、収量・食味コンバイン、営農支援システム（KSAS）を導入し、営農の効率化、生産性の向上を図る。
- ・ドローンによる除草の取組も検討している。

【表彰経歴】 令和元年度山口県農山村振興賞 表彰

【出典】葛岡・瓜迫農事組合法人聞き取り調査記録、国営事業地区における優良営農事例（中国四国農政局管内）（URL：<https://www.maff.go.jp/chushi/kyoku/einou/jirei/einoujirei.html>）



大豆ほ場



大豆収穫作業
(R5単収:169.1kg/10a)



3名の若手従事者